



# 高齢者・障害者・女性いきいき宣言 子育て日本一宣言

早稲田大学大学院 公共経営研究科 Cグループ



2005/9/18

早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」

1

# 発表の構成

## 1.各宣言毎の現状報告(進捗状況)とアウトカム評価

- 高齡者・障害者・女性いきいき宣言
- 子育て日本一宣言

## 2.進捗状況 最終的評価



2005/9/18

早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」

# 高齢者・障害者・女性いきいき宣言

## 1. 高齢者福祉の推進

- a. 高齢者福祉施設の充実
- b. 生涯学習の推進
- c. 高齢者の知恵と匠の伝承

## 2. 障害者福祉の推進

- ・ユニバーサルデザインの推進

## 3. 男女共同参画社会の推進

- a. 女性登用の推進
- b. 女性管理職の積極登用

# 1. 高齢者福祉の推進

## 1 - a. 高齢者福祉施設の充実



Output

〔就任以来〕

待機者解消のため、デイケア・グループホームの増設や  
特養の30床増床を行う。

(平成19年度までに3ヶ所の施設増。 特養30床増床)





# 現状報告(実施中の施設)

## 1. 「布野グループホーム」

- 指定管理者制度 5社入札 “慈照会(社会福祉協議会)”
- 鉄筋から木造へ変更することにより、建築費5000万円減

## 2. 「吉舎ケアハウス」 竣工( 入居者募集中)

3施設目・特養30床増床については、未着手の段階

# 1. 高齢者福祉の推進

## 1 - b. 生涯学習の推進



Output

(平成16年度以来)

生涯学習などの拠点として、「生涯学習サポートセンター」を設立



— 現状報告 — 未着手

# 1. 高齢者福祉の推進

## 1 - c. 高齢者の知恵と匠の伝承



Output

(平成17年度以来)

学校総合学習の時間を利用して、高齢者から社会学習を指導



— 現状報告 — 未着手

「各学校では、既に総合学習の時間で、地元の高齢者から神楽などを教わるがあった。」

ただし、教育委員会としては、どの学校が何を行っているかについて、把握していない。」

現在、「元気な商工室」が「みよしの匠」を選定している。

商工室が選定し、準備が整った段階で打診し、教育委員会が動き出す予定。

## <取材より> (作木町伊賀和志神楽団 岩崎清吾氏 へのヒヤリング) >

- 「中学で覚えた子どもたちが、今は若い衆になっていっている。(伝承の形式)」
- 「最初は下手くそだが、最後には“型”になる。あの年頃の子どもたちは、本気でやればわけなく覚える。終わって『よーやった』といえは、涙を流して喜んでいる子もいる。」
- 「われわれが教えんところを鍛えてくれとる(某中学校長談)」
- 「精神面でのこと。大きな声で怒ったり、叩いたり、カツを入れたりしながら、だんだん覚えさせていくからだろう。子どもの親たちも、そうしたやり方が悪いとは思っていない。」

## <文集より>

- 「難しいことでも、みんなでやればできる。みんなでひとつのことを成し遂げるのが大切だということがわかった」
- 「神楽団の人たちから厳しく指導されながら頑張ってきた。みんな厳しかったが、誉められるととてもうれしかった。終わってしまったら、寂しくなった」



## 2. 障害者福祉の推進

### ・ユニバーサルデザインの推進



Output

〔平成16年度計画策定・平成17年度行動開始〕  
「ユニバーサルデザインの推進計画」・「障害者いきいきプラン」



#### ー 現状報告 ー

・「ユニバーサルデザイン推進計画」については、現在、総務企画部・福祉事務所・市民生活部で考案中

・「いきいきプラン」は、本年平成17年3月に策定済み

# 3.男女共同参画社会の推進

## 3-a. 女性登用の推進



Output

〔就任以来〕

各種審議会への女性登用を積極的に行う

(8市町村登用率 : 平成15年時点15.9% / 平成19年度30%見込み)



— 現状報告 —

**現在達成率 24.7%**



(市の25審議会などの女性委員登用率)

# 3.男女共同参画社会の推進

## 3 - c. 女性管理職の積極的登用



Output

(平成16年度より)

市管理職に女性を積極的に登用し、民間事業所への啓発を推進



— 現状報告 — (平成17年4月1日現在)

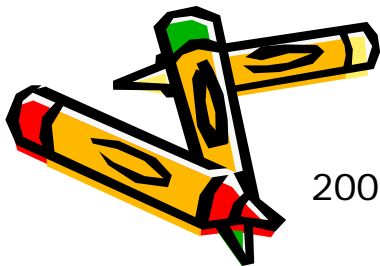
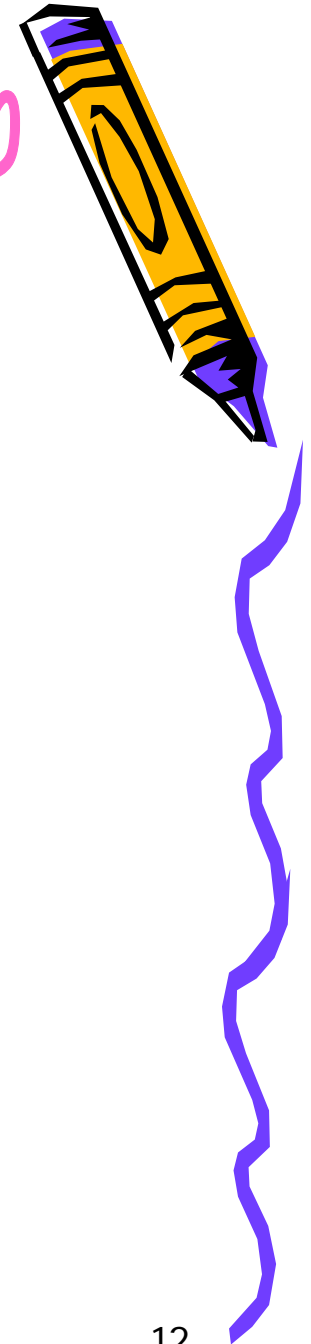
市管理職女性登用率

20.5% (医療含む) / 10.8% (医療除く)

# 子育てに夢がもてるまちづくり

## ・ 子育てに夢がもてるまちづくり

- a. 小児医療体制の充実
- b. 乳幼児医療費の無料化
- c. 出産前検診費の負担軽減
- d. 保育料の負担軽減
- e. 子育て基盤の整備
- f. 子育て応援団の充実
- g. 親子の憩いの場の創出



2005/9/18

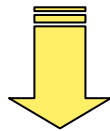
早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」

12

# 子育てに夢がもてるまちづくり



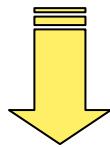
## a. 小児医療体制の充実



Output

〔平成16年度より〕

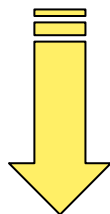
「365日24時間こども救急医療」を三次中央病院で行い、医療体制の充実を図る



- 現状報告 -

利用状況: 平日夜間で平均20~30件程度

(平成16年度小児科救急患者数7,733人)



Outcome評価のために、  
フィールドワーク(アンケート・ヒヤリング調査)  
を実施

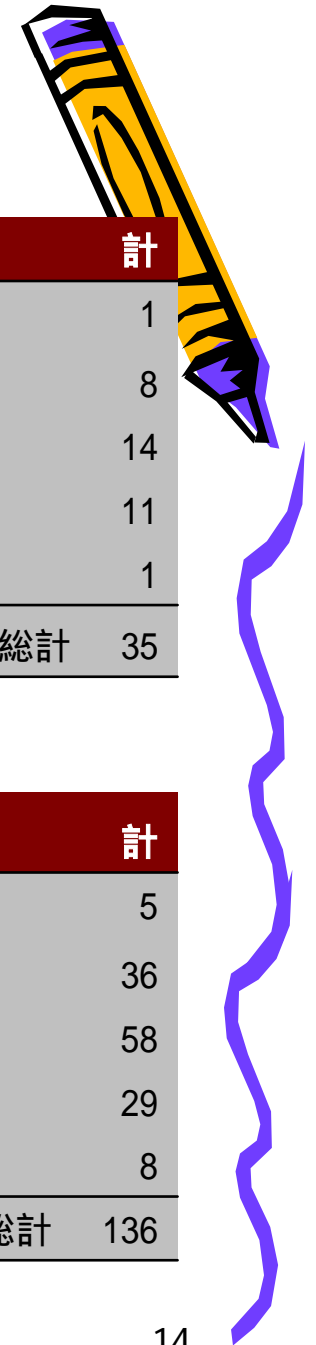


2005/9/18

早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」

13

# フィールドワーク(1): アンケート



男性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
子供 0人		1					1
子供 1人		1	5	1		1	8
子供 2人			11	2	1		14
子供 3人			3	7	1		11
子供 4人			1				1
計	0	2	20	10	2	1	総計 35

女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70台	計
子供 0人	1	3	1					5
子供 1人		10	22	2	2			36
子供 2人		8	29	13	5	2	1	58
子供 3人			13	13	1	1	1	29
子供 4人		1	5	2				8
計	1	22	70	30	8	3	2	総計 136

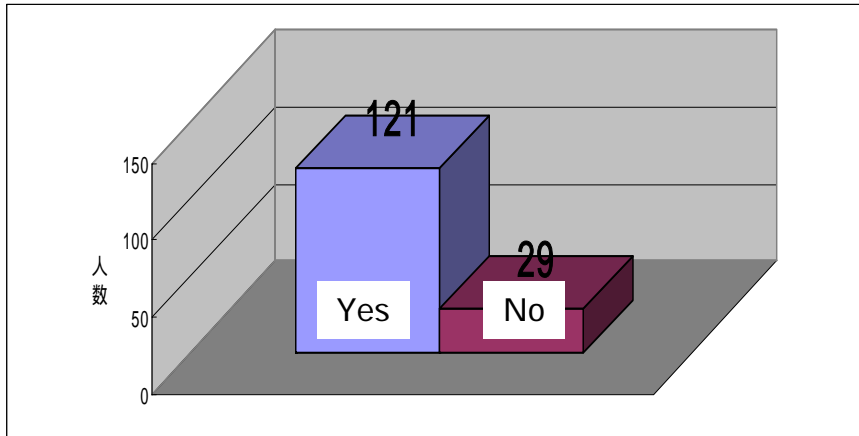


2005/9/18

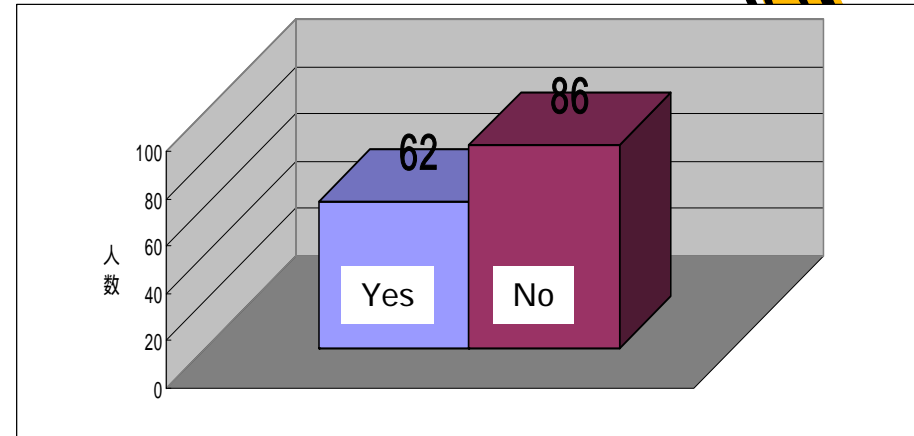
早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」

14

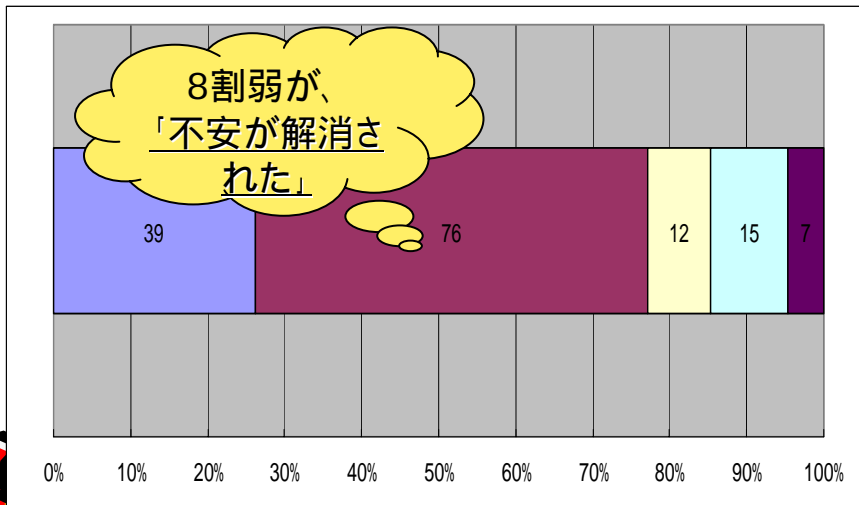
Q.1 「365日24時間こども救急医療」  
を知っているか。



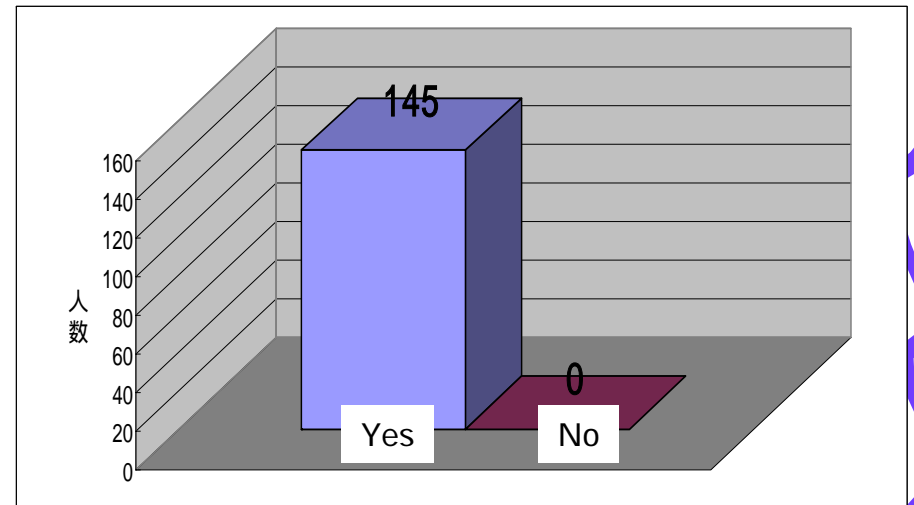
Q.2 「365日24時間こども医療救急」  
を利用したことがあるか。



Q.3 出産・子育てへの不安が解消されたか。



Q.4 「365日24時間こども救急医療」は  
今後も必要だと思うか。



2005/9/18

早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」

15

## フィールドワーク(2): 児童救急の現状と特徴



- 少子化にもかかわらず児童救急は年々増加傾向

救急患者数に占める小児科の割合=小児科医の不足という全国的な問題

(平成11年24.8% 平成16年41.4%)

- 救急患者のほとんどが軽症(風邪など)

医療機関相互の連携困難(=開業・個人医院と基幹病院のすみわけ)  
コンビニ化



2005/9/18

早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」

16

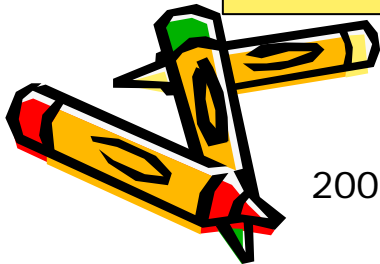


# 補足として……〔課題〕

現状として、増加し続ける救急患者により、医師をはじめ病院・地域医療そのものが疲弊してしまう可能性がある。  
過疎地域の医療、特に小児は大変に厳しい状況にある。

三次の児童救急を持続可能にする為には、  
現場の声を聞きながら、包括的視点から見つめ直す  
必要がある。

組織、地域の垣根を越えて、  
数少ない人材である小児科医を有効に活かし、  
より良い住民医療を目指す為には、  
各医療機関、近隣の市・県との連携が不可欠である。  
それら各機関が共通理解を持つための、  
話し合いの場作りが必要ではないか。



2005/9/18

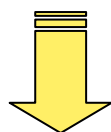
早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」

17

# 子育てに夢がもてるまちづくり



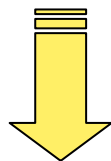
## b. 乳幼児医療費の無料化



Output

(平成16年度より)

乳幼児医療費を就学前まで、通院・入院費を無料化



- 現状報告 -

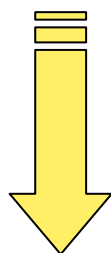
H16年4月より

6歳未満児の医療費を無料化

変更

H17年4月より

12歳未満児の医療費を一律500円に改正



Outcome評価のために、  
フィールドワーク(アンケート調査)を実施  
対象は前出と同じ



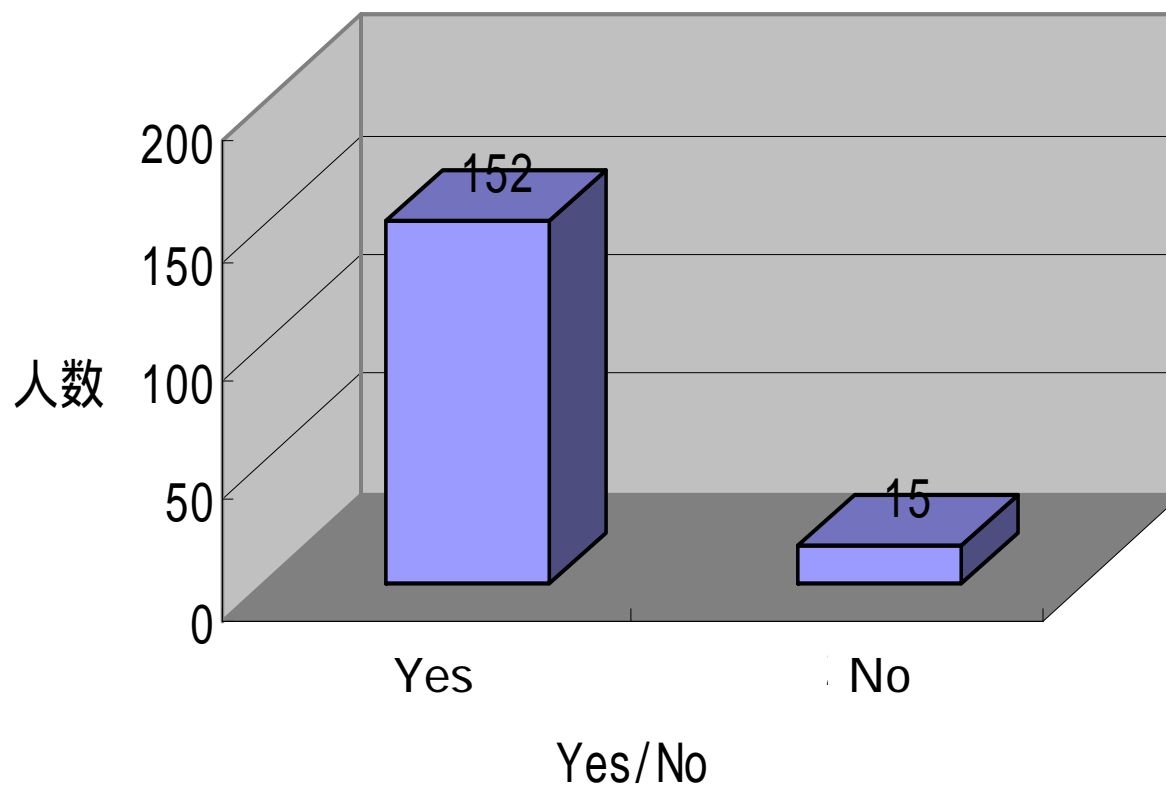
2005/9/18

早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」

18

Q1. 三次市では、平成16年度から、就学前のお子さまの通院・入院費用が一律500円化されていることをご存知ですか。

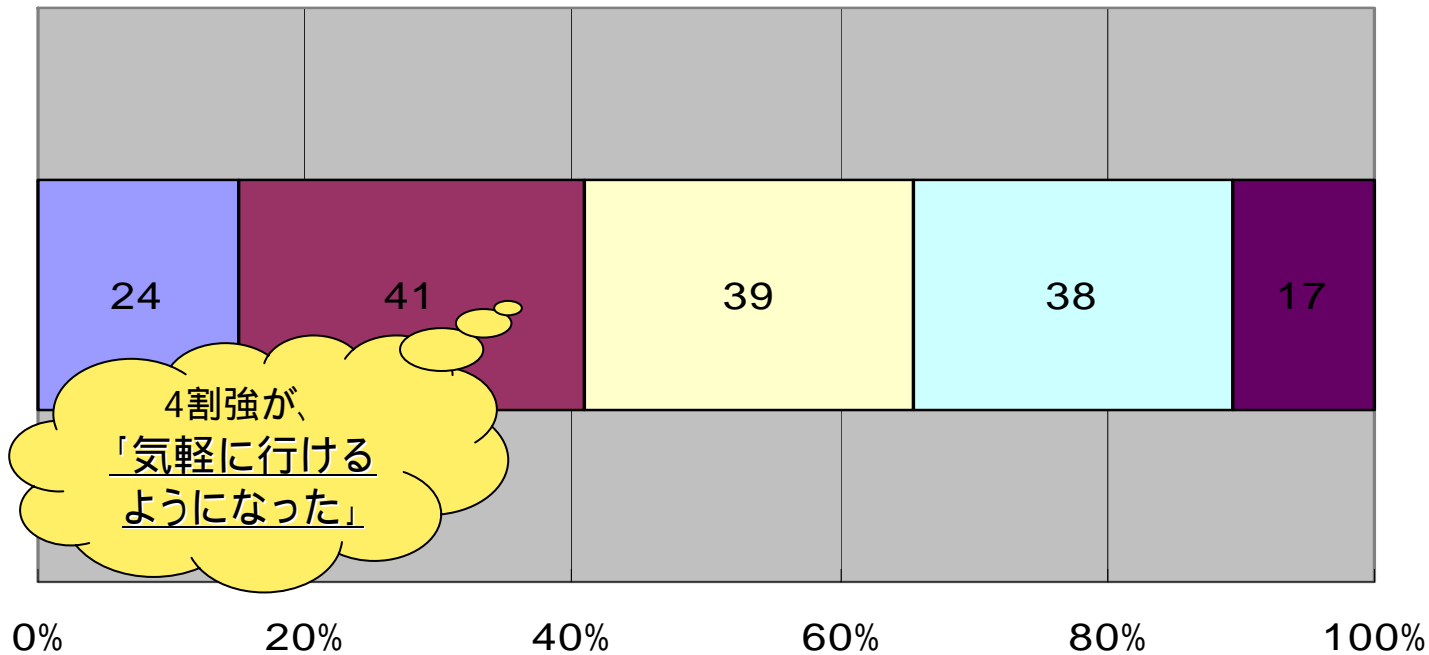
一部負担金(500円/日)を知っているか否か



2005/9/18

## Q.2 以前よりも、気軽に病院に行けるようになったか。

気軽に病院に行けるようになったか否か



4割強が、  
「気軽に  
行ける  
ようになった」

とても気軽に病院に行けるようになった	24
気軽に病院に行けるようになった	41
どちらでもない	39
そうではない	38
全くそうではない	17
総計	159



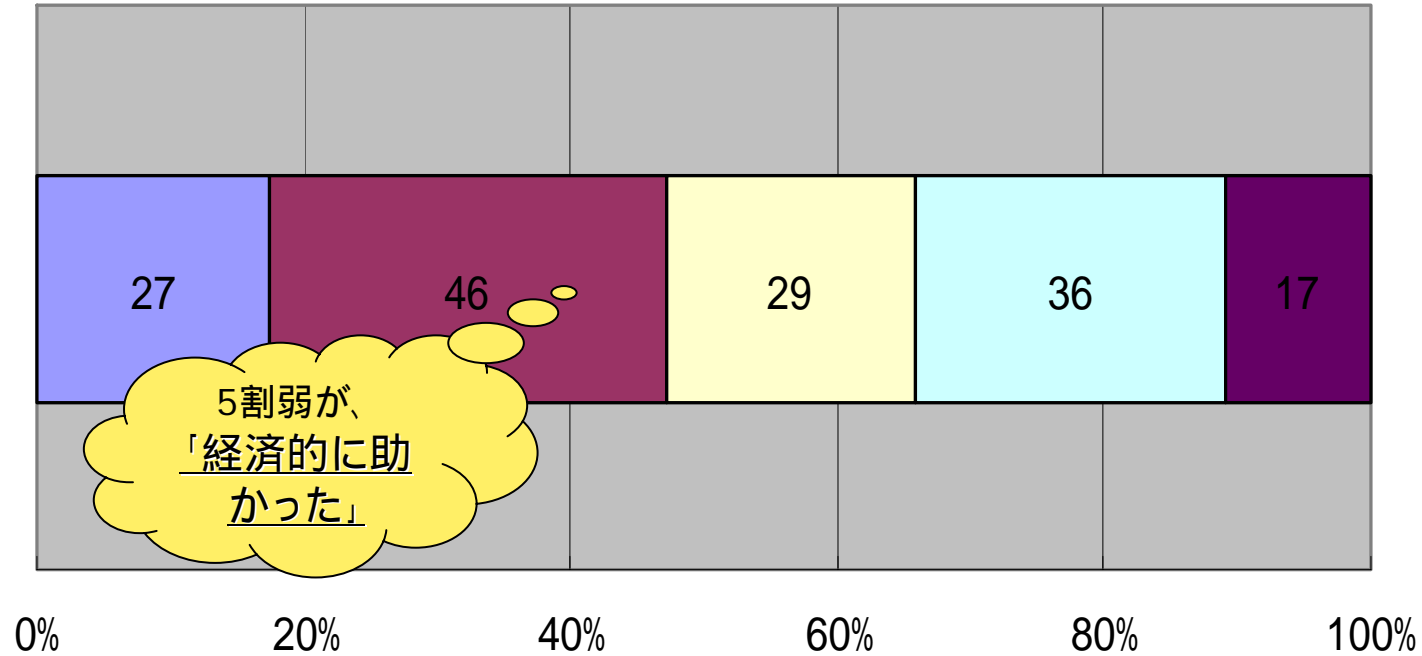
2005/9/18

早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」

20

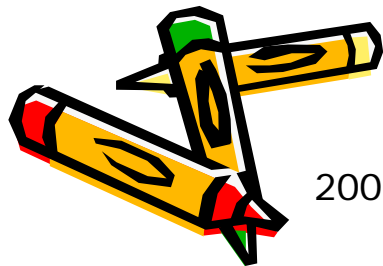
### Q.3 家計の面で経済的影響があったか。

家計の面で、経済的に助かった。



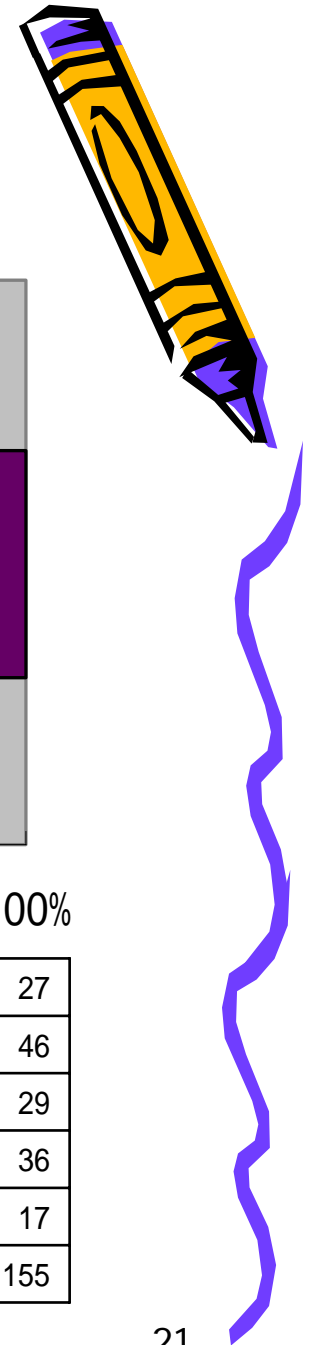
5割弱が、「経済的に助かった」

とても経済的に助かると感じる	27
まあまあ感じる	46
どちらでもない	29
感じない	36
全くそうは感じない	17
総計	155



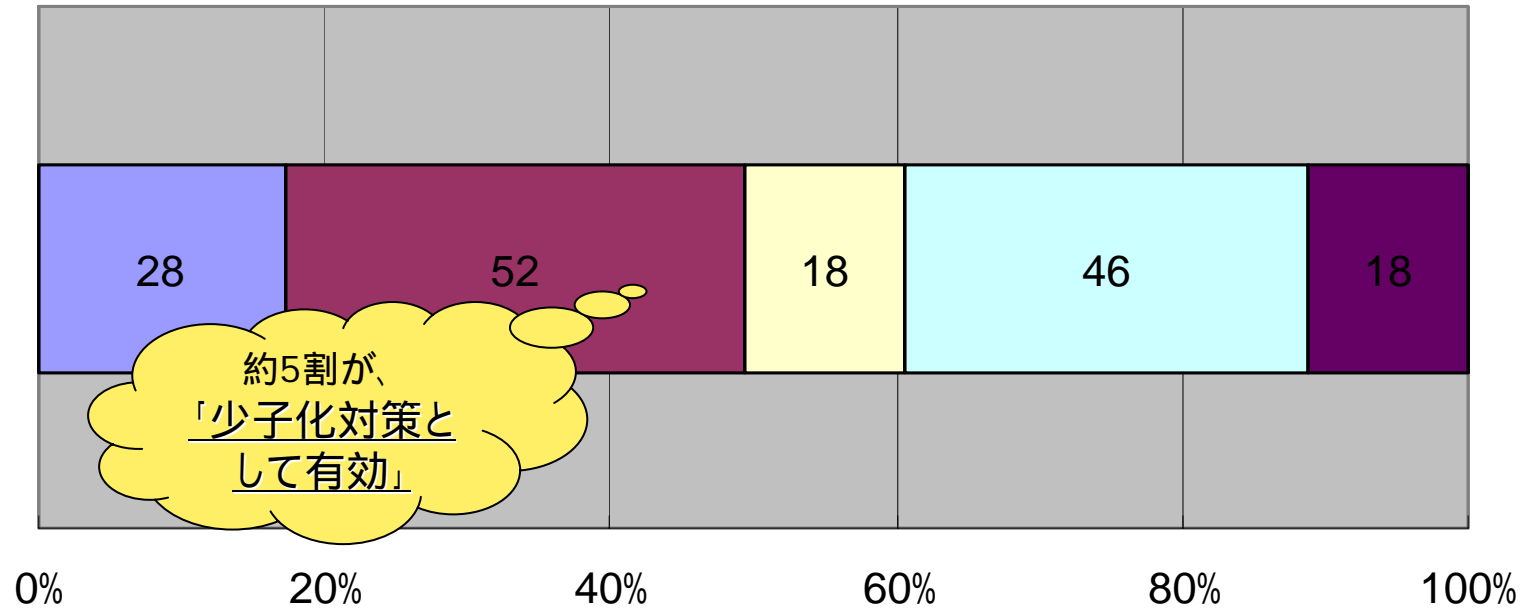
2005/9/18

早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」



# Q4. 少子化対策として効果があると思うか。

少子化対策として有効であるか否か



約5割が、「少子化対策として有効」

少子化対策としてとても有効である	28
有効である	52
どちらでもない	18
有効ではない	46
全く効果がない	18
総計	162



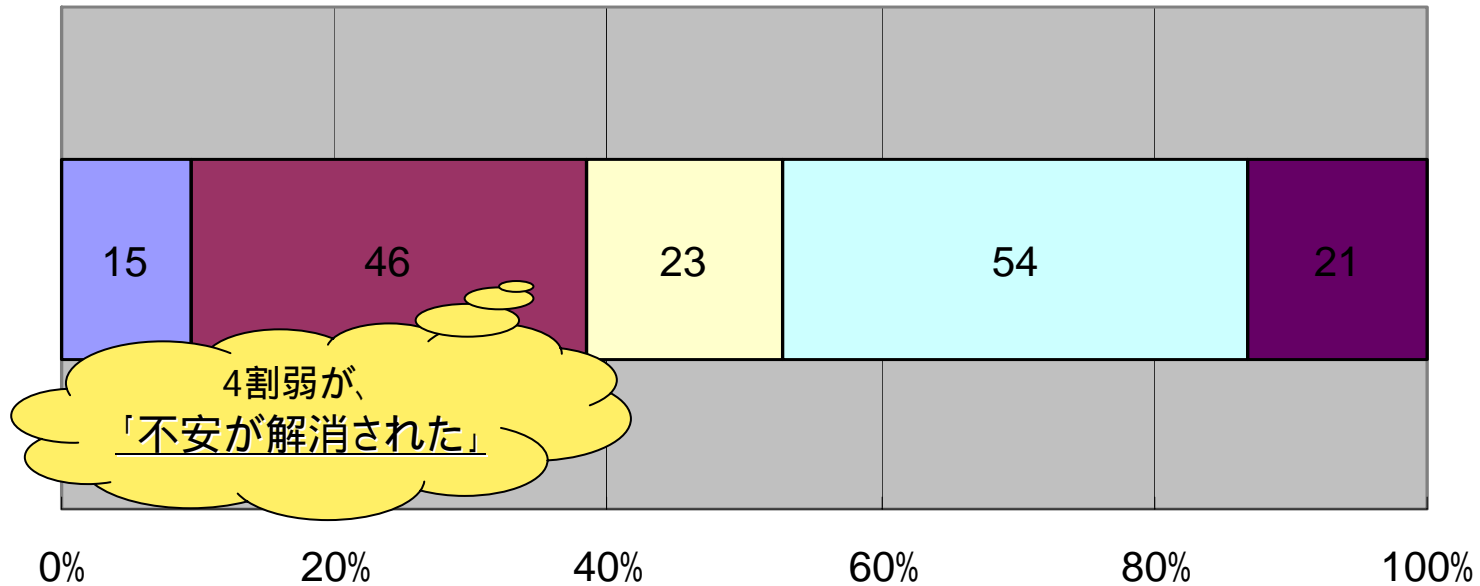
2005/9/18

早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」

22

## Q.5 出産・子育てへの不安が軽減されたか。

出産・子育てに対する不安が解消されたか否か



出産・子育てに対する不安が大きく解消された	15
不安が少し解消された	46
どちらでもない	23
そうは思わない	54
全くそうは思わない	21
総計	159



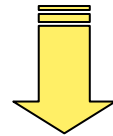
2005/9/18

早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」

23

# 子育てに夢がもてるまちづくり

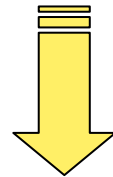
## c. 出産前検診費の負担軽減



Output

〔平成17年4月から〕

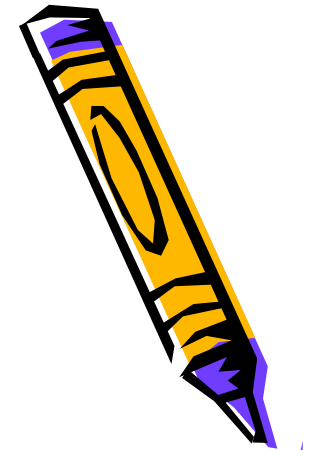
出産前検診費の個人負担を1/2に軽減



- 現状報告 -

妊婦一般健康診査助成回数を2回から6回に増加

(所得税非課税の場合は10回に)



2005/9/18

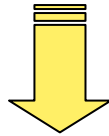
早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」

24



# 子育てに夢がもてるまちづくり

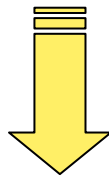
## d. 保育料の負担軽減



Output

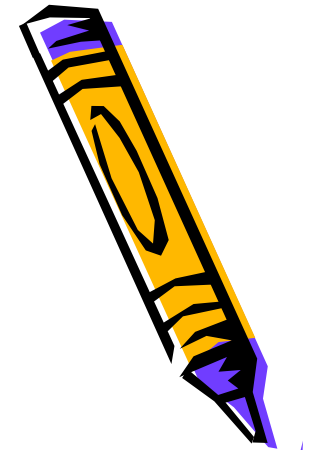
〔平成18年度より〕

保育料の負担軽減を図る。(特に第3子の保育料)



— 現状報告 —

実施に向けて、「保育運営適正化計画」を設け検討中



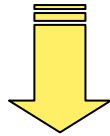
2005/9/18

早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」

25

# 子育てに夢がもてるまちづくり

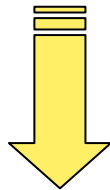
## e. 子育て基盤の整備



Output

[平成17年度～19年度まで]

事業所が授乳室などの設置する場合に助成を行う(目標20件)



- 現状報告 -

未着手



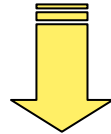
2005/9/18

早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」

26

# 子育てに夢がもてるまちづくり

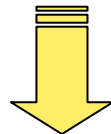
## f. 子育て応援団の充実



Output

〔平成16年度より〕

子育てHP・子育て応援ダイヤルを開設



### - 現状報告 -

子育てHP : 月平均3000件アクセス (平成16年4月開設)

子育て応援 : ダイヤル月平均50件 (平成16年4月開設)



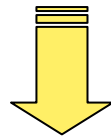
2005/9/18

早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」

27

# 子育てに夢がもてるまちづくり

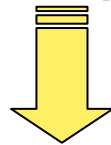
## g. 親子の憩いの場の創出



Output

〔平成16年度3箇所・平成19年度までに10ヶ所増〕

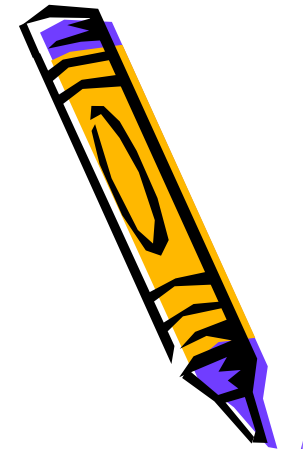
親子で遊べる場(ポケットパークなど)の整備



### ー 現状報告 ー

平成16年度 畠敷・三次・十日市南に整備

平成17年度 南畑敷に整備ほか2ヶ所選定中

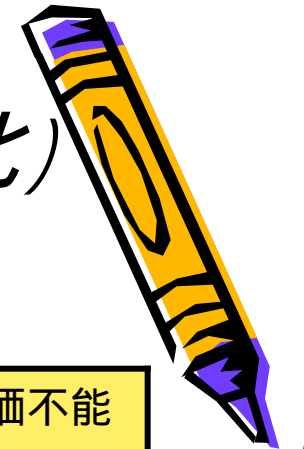


2005/9/18

早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」

28

# 進捗状況の最終評価 (前回比)



	極めて 順調 (A)	順調 (B)	変化なし (C)	「事業取りやめ Or 見直し」 (!)	評価不能 (?)
高齢者・障害者・女性 いきいき宣言	1	3	1		1
子育て日本一宣言	3	1	1	1	
<b>計(13本中)</b> (割合)	<b>4</b> 33%	<b>4</b> 33%	<b>2</b> 16%	<b>1</b> 8%	<b>1</b> 8%



2005/9/18

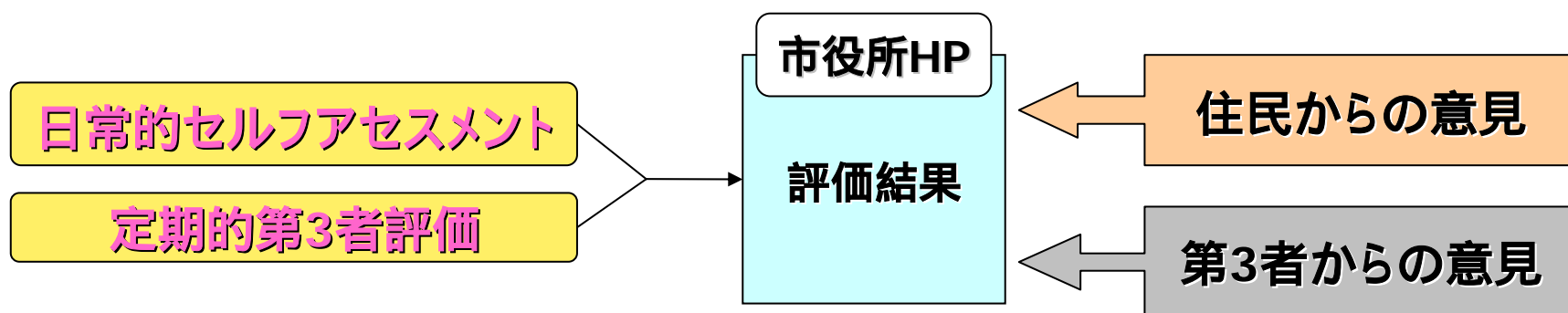
早稲田大学大学院公共経営研究科  
「自治体経営と地域自立・三次市」

29

以上の考察から、全体としてのマニフェストの進捗(目標達成度)は、2年間を通じて「概ね順調」といえる。

- 前回の評価時よりも達成状況は向上しており、マニフェスト達成に向けての努力が見られる
- 政策のうち2割弱が未だ着手されていない現状を打開するために、改めて目標達成に向け、残りの半期2年間を費やすべき

具体的には…



2005/9/18